

40歳になったら検診を受けよう!

仙北市民だけが受けられる、お得な大腸がん検診をご存じですか?

平成22年度
検診スタート!!

今、大腸がんが日本人に大変増えています。その原因は食生活の変化などいろいろな要因が考えられますが、確かなことはわかっていません。ただし、検診による早期発見、早期治療でその多くは治ることがわかっています。

秋田県の大腸がん死亡率が全国第2位であることを重く見て、仙北市では昨年より大腸がん検診事業（「大腸がん検診の研究(比較試験)」）に取り組んでいます。

この事業は、仙北市民の大腸がんによる死亡を少しでも減らすことを目的とし、**対象年齢の仙北市民の方は、無料で大腸がん検診を受けていただくことができます。**

昨年度、**40歳を迎えてこの事業の対象になられたみなさん**には、**4月上旬に本検診事業のご案内を送付**させていただく予定となっています。この機会にぜひ大腸がん検診を受けましょう！（詳しくは下記へお問い合わせください）

■4月の検診日程

月日	項目	受付時間	受付場所
4月13日(火)		午後4時	西木保健センター
4月20日(火)		午後7時	健康管理センター(角館)
4月22日(木)		午後7時	田沢湖総合開発センター

※受診するには**事前の予約**が必要です。

※予約、詳細お問い合わせは、下記までお願いします。

●対象は、**40歳～74歳の男女**です。

●検診は**無料**です。

※健康保険証の種別にかかわらず「大腸がん検診の研究(比較試験)」に参加いただいた方は無料です。



「仙北市民福祉部 健康管理センター」

TEL.0187-55-1112

月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)

子宮頸がんは予防できます ヒトパピロームウイルスワクチンを接種しましょう

市立角館総合病院産婦人科 後藤 薫

子宮頸がんはヒトパピロームウイルス（HPV）の感染により起こります。このウイルスには多くの型がありますが、その中で最も発がん性が高いと言われるHPV16型、18型に対するワクチンの接種が始まりました。当院でも受け付けています。

子宮頸がんは、近年、20代、30代という比較的若年の女性で増加しており、性交開始年齢の低下がその要因と考えられています。今回発売されたワクチンは、すでに感染している人のウイルスをなくす作用がないため、10歳から30歳くらいの性交経験がない女性が最もよい適応です。効果は約20年持続

すると言われています。もちろん、性交経験があっても、HPV16、18型に感染していない人には有効です。

しかし、全ての発がん性HPVに有効なわけではないので、性交経験がある女性は、年1回の子宮頸がん検診を受けてください。

早期に発見できれば子宮を摘出せずに治療することも可能ですが、進行した場合は、救命困難な場合もありますし、治療にかかる費用は高額で、精神的、肉体的負担も大きなものです。ご自身はもちろん、お子さんのためにもワクチン接種をお勧めします。しかし、副作用もありますので、接種時に詳しく説明します。

初回、初回から1カ月後、6カ月後の3回の接種が必要で、費用は1回15,750円（消費税込み）です。お申し込みや接種法については、当院産婦人科外来（平日12時まで）または小児科外来（平日17時15分まで）に電話（54-2111）でお問い合わせください。

将来、子宮頸がんを大幅に減少させ、本人はもちろん、医療費用の削減にも有用なワクチンですが、高額ですので、由利本荘市や潟上市では市が助成することになっています。仙北市についても助成について協議中です。